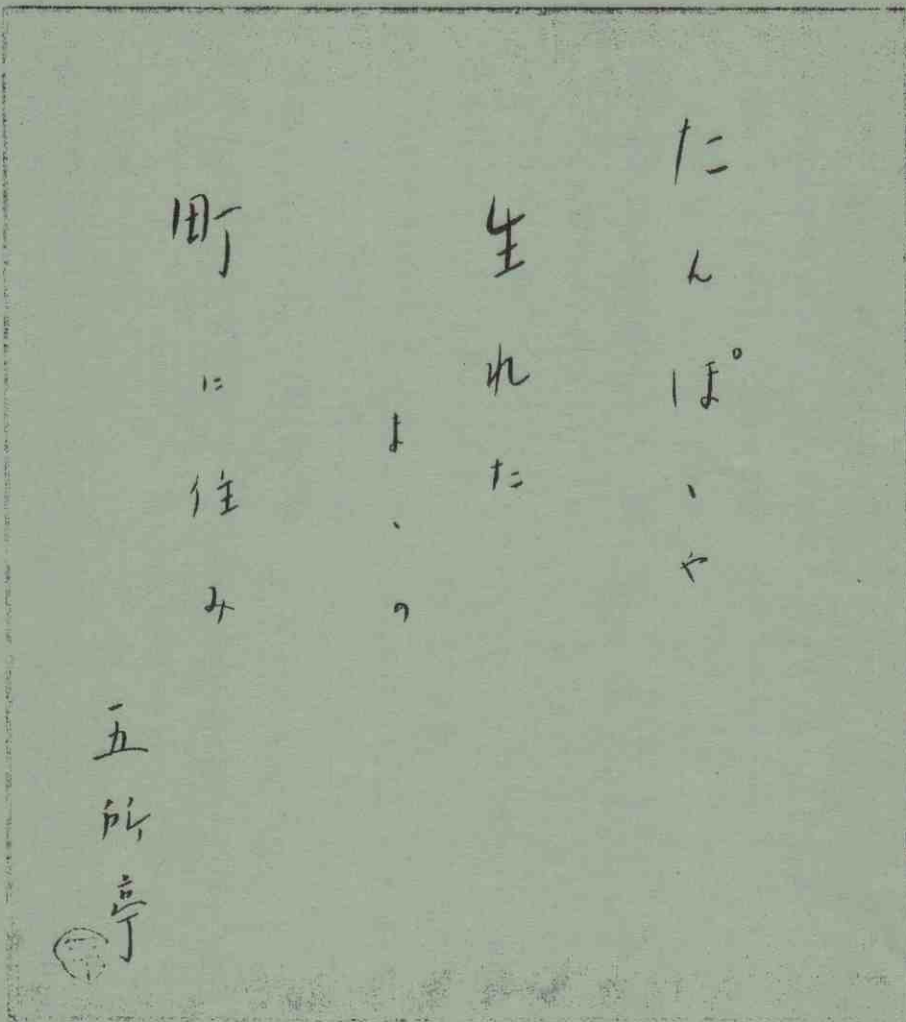


宇佐市民図書館 2005.9  
 郷土スペース月報

〒879-0453 大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600 FAX.0978-33-4679  
<http://www.usa-public-library.jp/>

今月の表紙 俳句色紙。「たんぼや生れたまの町に住み／五所亭」映画監督・五所平之助の自筆  
 俳句色紙。五所亭は俳号。



目次

- ◆今月の表紙・映画監督 五所平之助の俳句色紙①
- ◆五所平之助『わが青春』より①
- ◆龍膽・小野精一編「大分県人名辞典」本文編(40)
- ◆新着郷土資料目録・平成十七(二〇〇五)年8月

私の家の名字はむかし御所と書いたそうである。大分県にある宇佐八幡宮の神主の子であった祖父の惣右衛門が、商人にあこがれ家郷を捨てて大阪に出た。私よりも背が高かった祖父は煙突の吐き出す煙を見て、人がキセルから吐く煙草のけむりに着目し、直ちに煙草商になる発想をしたと言われている。

東京―大阪―神戸―博多―仙台という全国五大都市に店を構えることの出来るような大商人を念願して、御所の姓を五所と改名したのだと聞かされていた。

五所平之助『わが青春』  
 永田書房・1978

# 龍膽・小野精一編 大分県人名辞典 本文編 (40)

遺族から宇佐市に寄託された自筆原稿より、本文を順次紹介しています。  
収録人名一覧は、No.7(2000.10)～No.14(2002.5)に記載しました。

## おおい

おおいわみさき

大岩 岬

明治十三年、竹田町大岩梢の次男に生る。二十九年、代議士朝倉親為氏に伴われ上京し、大蔵省に勤め、工商夜学校に学ぶ。一時、故山に病を養い、三十一年、普通文官に及第、三十八年再び大蔵省に入る。四十年、実業界に身を投じ、日本工業化学株式会社を創立し、大倉善八郎を社長とす。遂に大倉組総務部に入り、大正十三年、秋田木材会社に入り、其常務となり、秋田運輸会社社長に推され、其他諸会社重役に任ず。趣味として漢詩を嗜む。  
(大典・人士録)

おおかわらぐけん

大河原具顕

岡藩士。昌平の次子。同族大河原友之助没後、藩命を以つて同家を継ぐ。長じて由学館教授となる。寛政中、高山正之岡に来るや、互いに国事を談じ、諸交親しかつた。天明二年、加藤友治と共に系図方となり、同七年、系譜数十巻を著す。之を賞して江戸留守居格に進む。同八年、武館出仕を命ぜられた。生涯娶らず、養父友之助の弟水之助を嗣とす。天明九年没した。通称九郎左右衛門致仕後、湛楽斎と号した。  
(大塚氏調)

## おおし

おおしろうんげん  
大城雲樵

岡藩医。仲亮の二男。文番の弟。

幼児由学館に学ぶ。文化十四年、岡崎仲達に医を修む。文政二年、京都の小石元瑞、竹中文輔に学ぶ。文政五年、御目見医仰付られ、文政十一年、御番医格となり、天保十年、御手医師となり、十二年、江戸請となる。十五年、御匙医師格となる。弘化四年、暇を賜う。安政二年没す。幼名鼎位良、後、鼎又鼎庵、竹田の子、如仙と小石の門に学びしこともあり。詩書画を善くす。(大塚氏調)

おおしろかんざん  
大城冠山

大分郡桃園村後藤周影の長子。名亀、字兆郷迪奇又冠山と号す。幼時、空桑、万里に従学更に淡窓に学ぶ。大城道哲に医を学ぶ。道哲養うて子とす。後ち大坂終庵に眼科を専攻す。帰山開業、後年、四十八□□で長崎に蘭医を修む。晩年、大分監

## おおた

おおたによしつぐ

大谷吉継

(一五五九～一六〇〇)

父は大友宗麟の家臣大谷盛治という。秀吉に近侍し、吉継と称す。幼名は紀ノ介と称していた。敦賀五万石を領す。義を重し石田三成に味方し、関ヶ原の役西軍に従う。戦敗れ自ら首を刎ねて死す。年四十二。其女真田幸村に嫁す。

## おおつ

おおつじゅんぞう

大津悋三

(一八六五～一九二八)

大分新聞社長。川添村御手洗峰吉次男。慶応元年生。鶴崎石松万年の塾に学ぶ。巡査となり、収税吏となった。高山氏の世話で明治二十七年大分新聞に入る。日清戦争直後、社長として献任した。創刊後、七年目であった。隔日刊行を日刊と改め、四十三年輪転機購入。創刊三十年記念祝賀会を東京大隈侯邸で催し、豪華な事であった。昭和三年、六十三歳で没し、総領征夫が社長となった。  
(党人郷記)

おおつまさお

大津征夫

悋三長男。明治二十七年生。大正十年、京大法科出身。報知大

等の新聞社に見習い、同十二年洋行、帰朝するや大分新聞副社長に任じ、昭和三年親父没後、社長に就任。  
(党人郷記)

おおつかこうべえ

大塚幸兵衛

安政四年白杵町に生る。家代々商を業とす。煙草製造に成功し、白杵煙草の名をなす。桑園奨励蚕業発達に貢献した。明治二十六年の大洪水に当り倉庫を開いて賑救したことは大に世に賞揚を博した。公共の事業に尽せし事挙げて数え難く一事業を起す先ず其門を叩いて賛同を求めざるなく、商界に於ては神草鬼策一も道つなく、県下有数の富豪となる。三十一年、衆議院選挙に進歩党の候補小栗貞夫を脆くも一蹴し、二十時間の運動で当選したことには平素義侠に富み、郡民に徳を積み

る結果となす。  
(県政史)

幸兵衛は明治四十三年五十四歳で没し、長男伝氏が継ぎ、伝氏も四十年県会議員に推され、四十四年には再選した。  
(党人郷記)

バックナンバーは、  
郷土スペース(雑誌架)に  
ファイルしています。  
ご希望のかたには、  
中央カウンター(そうだん)で  
さしあげます。

## 新着郷土資料目録 平成17(2005)年【8月】

書名／人名／出版社／出版年(月)／請求記号／(備考)

- 大分県院内町町勢要覧[平成15年3月]／院内町役場／2003／A059.4  
 石清水八幡宮 男山に座し国家を鎮護する／学習研究社／2003／A175シ／(寄贈)  
 六郷山と田染荘遺跡／櫻井成昭／同成社／2005／A204サ／(購入)  
 院内町誌／院内町誌刊行会／1983／A215イ／(寄贈・複本)  
 大分 日本の山河4／北小路健／国書刊行会／1977／A290／(寄贈)  
 おおいたの色彩 Color Of Oita／大分県企画振興部／2005／A290オ／(寄贈)  
 大分の旅／大分県観光協会／1991／A290オ／(寄贈)  
 信州と福沢諭吉／丸山信／東京図書出版会／2005／A309マ／(購入)  
 おおいた部落解放史 創刊号／大分県部落解放史研究会／1983／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第2号／大分県部落解放史研究会／1984／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第3号／大分県部落解放史研究会／1986／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第4号／大分県部落解放史研究会／1987／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第5号／大分県部落解放史研究会／1987／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第6号／大分県部落解放史研究会／1988／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第7号／大分県部落解放史研究会／1988／A316オ／(寄贈)  
 おおいた部落解放史 第12号／大分県部落解放史研究会／1992／A316オ／(寄贈)  
 おおいたの戦争遺跡／大分県文化財保存協議会／2005／A390オ／(寄贈)  
 巡洋艦／呉市海事歴史博物館／ダイヤモンド社／2005／A550ク／(購入)  
 松下竜一の青春／新木安利／海鳥社／2005／A910マ／(購入)  
 物語の中のふるさと／読売新聞西部本社／海鳥社／A910ヨ／(購入)  
 横光利一と敗戦後文学／野中潤／笠間書院／2005／A910Y05／(購入)  
 ばかちゃん日記／横田淳子／文芸社／2005／A915ヨ／(購入)  
 これだけは読んでおきたい特攻の本／北影雄幸／光人社／A916キ／(購入)  
 人間魚雷「伏龍」特攻隊／瀬口晴義／講談社／A916セ／(購入)  
 「特攻」と遺族の戦後／宮本雅史／角川書店／2005／A916ミ／(購入)

### 【点字資料】

- 福沢諭吉の世界 第1巻／挟間久／原著:大分合同新聞社／1995／TA309ハ／(寄贈)  
 福沢諭吉の世界 第2巻／挟間久／原著:大分合同新聞社／1995／TA309ハ／(寄贈)  
 福沢諭吉の世界 第3巻／挟間久／原著:大分合同新聞社／1995／TA309ハ／(寄贈)  
 福沢諭吉の世界 第4巻／挟間久／原著:大分合同新聞社／1995／TA309ハ／(寄贈)  
 福沢諭吉の世界 第5巻／挟間久／原著:大分合同新聞社／1995／TA309ハ／(寄贈)  
 福沢諭吉の世界 第6巻／挟間久／原著:大分合同新聞社／1995／TA309ハ／(寄贈)